

いもう 葦毛通信



イワショウブ

2025年11月17日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町三丁目1
TEL: 0532-56-6060

No. 177

1、2025 年度大規模植生回復作業を開始しました！

葦毛湿原の大規模植生回復作業は2012年度（2013年1月）から開始し、今年度で14年目になりました。今年度は11月4日（火）から作業を開始しました。作業は11月から2026年3月まで年末年始を除く毎週火曜日の9～12時、毎月第3日曜日の9～12時に行う予定です。なお、雨天は作業中止です。

都合により日時を変更する場合がありますが、作業は公開しており、葦毛湿原では木道の上から自由に見学ができます。興味のある方は是非ご覧ください。

また、**葦毛湿原植生回復ボランティア**も募集しています。興味のある方は**豊橋市文化財センター**（0532-56-6060）までご連絡下さい。

1）今年度の作業

今年度の作業も基本的に①：木の伐採、②：手作業による表土や根の層の掘削、③：除草の3種類で行います。①は昨年伐採を行ったところの続きで指定地西側の森を伐採します。②は湿地中央部では実験区を設定し表土等の掘削を行い、埋土種子からの発芽を確認します。旧水田部分では大雨で壊れた土手や水路を修復し、冬水田んぼ（新たに池状になるところ）として再生します。③は日照を確保するために広い範囲を除草します。



外来種（メリケンカルカヤ等）を根ごと抜く



外来種除去



運搬

これ以外には、作業が順調に進めば伐採した木の根をバックホーで除去する予定です。木の根をバックホーで大規模に除去する作業は今回で一段落する予定です。他では行っていない作業なので、見学希望の方はぜひお越しください。詳細が決まればお知らせします。

2、2025年度モニタリング報告－4

1) I 地点（ミズゴケ除去実験区）

I 地点では、旧水田の木道沿いでミズゴケが厚く堆積しているところで、ミズゴケを除去する実験区を設置しました。厚い所で 50 cm ほどの高さがあり、山のように盛り上がっていました。ミズゴケは表面にあるものは黄緑色で生きているようですが、下に行くほど枯れており、最下層は黒くなって土壌化しているようでした（下右写真）。今回の作業ではミズゴケのみを除去することにしました。



I 地点実験区作業中（2024 年 12 月 15 日）



I 地点実験区作業後（2025 年 1 月 28 日）



実験区作業5か月後（2025 年 6 月 18 日）



実験区作業10か月後（2025 年 11 月 13 日）

上左写真は作業5か月後で、右は10か月後の写真です。ミズゴケを除去したところからはイ（イグサ）が出現しましたが、10か月経っても発芽する植物は増えず、湿生植物の発芽は予想より少数でした。ミズゴケを除去しましたが、ミズゴケの土壌化した最下層部分が除去されておらず、水田だった時の旧地表面が出ていないためと思われます。今年度の作業でさらに土壌化したミズゴケ部分を薄く剥ぎ取る予定です。旧地表面が現れることにより、多くの湿生植物が発芽すると予想しています。

2) L 地点（作業直後）

L 地点（4 の沢）は葦毛湿原で開始した大規模植生回復作業の3・4年目の2014・15年度に間伐して明るい森にしたところ（葦毛通信 No. 33・35 参照）ですが、その後ネザサが繁茂して優勢になって他の湿生植物が衰退したため、2022年度にバックホーを使って根を

除去したところです（葦毛通信 No. 133・134 参照）。ネザサの根を除去した植生回復作業後 1 年目の成果については、2023 年度の葦毛通信 No. 144・145 で報告しました。

下写真は作業直後の状況です。バックホーでネザサの根を除去し、さらに手作業で残った根を丹念に除去しました。基本的に初期化した状態なので、ほとんど植物がみられない状態です。作業中にササの根の中からミカワバイケイソウの根茎がいくつも見つかり、水が多く土壌がある程度あるミカワバイケイソウに適したところに移植しました。しかし、移植した年は開花しましたが、次の年には発芽せず消えてしまいました。自然状態での植物の移植はかなり難しい状況です。



L 地点東作業直後（2023 年 3 月 22 日）



L 地点西作業直後（2023 年 3 月 22 日）

3）L 地点（作業 5 か月後）

作業 5 か月後では、木の根元に除去しきれずに残ったネザサが成長しているところがありますがごく一部で、全体に湿生植物が発芽して良好な湿地に戻りました。



L 地点東作業 5 か月後（2023 年 9 月 7 日）



L 地点西作業 5 か月後 (2023 年 9 月 7 日)

4) L 地点 (作業 2 年 2 か月後)

作業 2 年 2 か月後でもネザサの自生範囲は限定的で、全体に湿生植物が繁茂し良好な湿地に再生しています (下写真)。



L 地点東作業 2 年 2 か月後 (2025 年 6 月 18 日)



L 地点西作業 2 年 2 か月後 (2025 年 6 月 18 日)

上左写真は伐根した時の根を仮置きし、その後除去したところで土が残りやや乾燥した場所です。作業直後は裸地状態でしたが、トモエソウが出現し数を増やしています。上右写真は大雨により礫が堆積して水の流れが変わって裸地化したところですが、現在は様々な植物が出現し、ミカワバイケイソウ等の湿生植物が再生しています。